

2013年7月18日

海の日記念行事「海藻おしば体験教室」開催報告

理事 納土 伸男

1. 日時：2013年7月15日（月）午前11時～午後3時
2. 場所：東京海洋大学 水産資料館2階展示室
3. 参加者：東京海洋大学 海洋科学部 田中 次郎教授 他研究生×5名
海の森づくり推進協会 納土 横山
4. 教室開催の目的
 - 4-1 一般市民には馴染みの少ない海藻（草）に関心を持ってもらうために、「海の日」記念行事の一環として東京海洋大学で開催された「海藻おしば体験教室」に、当協会は共催者として参加した。
 - 4-2 水産資料館1階では来場者に当協会の活動状況をPRするために、「海の森づくりニュースレター（2013.3008号）」と、書籍「海の森づくり：松田代表理事著」の購入申込用紙を、各60部配布した。



ポスターと受付

5. 用意した海藻の種類（緑藻類、褐藻類、紅藻類）
 - (1)ハバノリ
 - (2)ウスバアオノリ
 - (3)イソモク
 - (4)アカモク
 - (5)マクサ
 - (6)アブレグサ
 - (7)ベニヒバ
 - (8)ユカリ
 - (9)トサカノリ
 - (10)アサミドリシオグサ
 - (11)ボウアオノリ
 - (12)ホソエダアオノリ

6. おしばの制作

6-1 教室開催に当たって、田中先生から海藻おしばの制作方法について説明が行われた。

6-2 作品を後日制作者のもとへ郵送するために、作業を始める前に封筒と台紙に制作者の住所と名前を記入して貰う。

6-3 短冊形の台紙に海藻をピンセットや竹串でバットから掬い上げ、海藻の形や色などのデザインをしながら海藻おしばの制作を行う。

6-4 出来上がった作品は田中研究室へ持ち帰り、完全に乾燥させた後ラミネート加工し後日制作者宛に郵送される。



田中先生の説明



海藻おしば制作風景

7. まとめと今後の課題

7-1 教室への参加者は親子連れ（母親と子供）が多かった。作品送付用の封筒が105通となり、封筒の中へ作品が2～3点入れられるとすれば今回の参加者は合計250名程と考えられる。田中先生の話では過去最大の参加者であった。

7-2 関係者の負担は増えるが出来上がった作品を後日審査して、優秀作品については表彰をするようなことを考えてみると面白いかも知れない。

7-3 当協会の活動状況を紹介する資料が、会場入り口のポスター、協会発行ニュースレター、松田代表理事の著書の案内だけでは質量共に不足している。以下のような資料を準備する必要がある。

- ・大型の「海の森」の水中写真パネル
- ・コンブ種糸を利用したコンブ養殖マニュアル
- ・コンブ種糸を利用したコンブ養殖の水中写真
- ・コンブ種糸の全国での使用状況
- ・壱岐や宇和島での「コンブ収穫祭」の写真

乾燥中の作品の一部



以 上